

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	1 職務の理解		
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について理解する。この指導を通じて介護職がどのような環境でどのような形でどのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し以降の研修に実践的に取り組めるようにする。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)多様なサービスの理解	3	6(0)	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>① 介護保険サービス(居宅、施設)</p> <p>② 介護保険外サービス</p> <p>介護保険サービス(居宅、施設)、介護保険外サービスにはどのようなものがあるか理解する。</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>介護保険ではどのような所でどのようなサービスが利用できるかグループで話し合いを行う。</p>
(2)介護職の仕事内容や腹楽現場の理解	3		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容</p> <p>②居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ</p> <p>・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容について講師の経験談、視聴覚教材等を活用して理解する。</p> <p>③ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ</p> <p>他職種・介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携</p> <p>・ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ、他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携についてグループワークや演習を通じて理解を深める。</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>サービス提供現場等でどのような仕事を行うかを、グループで話し合いを行うことにより具体的にイメージできるようにする。</p>
時間数合計	6	6	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	2 介護における尊厳の保持・自立支援		
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点およびやってはいけない行動例を理解する。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)人権と尊厳を支える介護	6	1.5(7.5)	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>人権と尊厳の保持、ICF(国際生活機能分類)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護の現場における「基本的人権」「個人の尊厳」について理解する。</li> <li>・ 利用者のプライバシー、ICF、QOL、ノーマライゼーションについて用語と内容の基礎的理解、虐待、身体拘束について理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>ノーマライゼーションについてグループで話し合う事により人権について理解する事ができる。</p>
(2)自立に向けた介護	3		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>自立支援、自立支援のための介護方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立支援と介護予防の考え方について事例を示し理解を深める。</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>事例を通じて自立支援について理解を深める。</p>
時間数合計	9	9	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	3 介護の基本		
指導目標	<p>介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点 から支援を捉える事ができる。</p> <p>介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクと その対応策のうち重要なものを理解する。</p>		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	3(3)	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①介護環境の特徴の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護と施設介護の違いについて理解する。</li> </ul> <p>②介護の専門性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の専門性と多職種との連携について理解する。</li> </ul> <p>③介護に関する職種</p>
(2)介護職の職業倫理	1.5		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>① 介護職としての社会的責任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の職業倫理を理解する。</li> </ul> <p>② チームケアにおける役割分担</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>異なる職種がチームケアを行うにはどのような事に注意をしておこなっていくべきか？グループで話し合う。</p>
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①介護における安全の確保</p> <p>②事故予防、安全対策</p> <p>③感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における安全の確保の重要性、事故予防と安全対策、感染症対策について、事例を検討し理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>介護現場ではどのような危険が潜んでいるか？グループで話し合うことによりリスクマネジメントについて理解する。</p>
(4)介護職の安全	1.5		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>介護職の心身の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の心身の健康管理について理解する。</li> </ul>
時間数合計	6	6	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携		
指導目標	介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的・サービス利用の流れ・各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)介護保険制度	3	2.5(6.5)	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①介護保険制度創設の背景および目的、動向</p> <p>②仕組みの基礎的理解</p> <p>・介護保険制度創設の背景と目的、動向、基本的仕組みについて理解する。</p> <p>③制度を支える財源、組織、団体の機能と役割</p> <p>・介護保険の財源構成、特定疾病、ケアプラン、地域包括支援センター、地域包括ケアシステム、介護保険サービス・施設サービスの種類、介護保険制度の仕組みについての理解</p> <p>④利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際</p>
(2)医療との連携とリハビリテーション	3		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>リハビリテーションの理念</p> <p>・医療行為と医療行為ではない行為について、訪問看護、施設における看護と介護の役割と連携、リハビリの基礎知識について理解する。</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>施設における介護職の専門分野・看護職の専門分野・リハビリの専門分野についてグループで話し合うことにより連携の仕方について理解する。</p>
(3)障害者総合支援制度およびその他の制度	3		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>① 障害者福祉制度の理念</p> <p>② 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解</p> <p>・障害の概念と障害の種類、障害者自立支援制度の仕組みについての理解。</p> <p>③ 個人の権利を守る制度の概要</p> <p>・成年後見制度、日常生活自立支援事業についての理解</p>
時間数合計	9	9	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	5 介護におけるコミュニケーション技術		
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解する。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)介護におけるコミュニケーション	3	3.5(2.5)	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割</p> <p>②コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション</p> <p>③利用者・家族とのコミュニケーションの実際</p> <p>④利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際</p> <p>・介護の現場で必要なコミュニケーションと様々なコミュニケーション技法について、グループワークや演習を通じて理解する。</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>利用者・家族との人間関係を傷つけるコミュニケーションとその理由についてグループ討議を行い、配慮に必要性を考える</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>コミュニケーションを行う際のポイントをグループで話し合うことによりコミュニケーションの重要性について理解を深める。</p>
(2)介護におけるチームのコミュニケーション	3		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①記録における情報の共有化</p> <p>②報告</p> <p>③コミュニケーションを促す環境</p> <p>・チームにおけるコミュニケーションの知識と技術について理解し、記録・報告・会議の意義、目的の重要性、記録における情報の共有化を理解する。</p> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>事例を通じ実際に記録を書くことによって、より記録についての理解する事ができる。</p>
時間数合計	6	6	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	6 老化の理解		
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)老化に伴うところとからだの変化と日常	3	3(3)	<講義> ①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ②老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 <演習> 老化に伴う心身の変化等の具体例を挙げ、その対応についてグループで話し合いをおこなう
(2)高齢者と健康	3		<講義> ①高齢者の疾病と生活上の留意点 ②高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 ・高齢者に多い症状と疾病について、事例や演習を通じて理解を深める。
時間数合計	6	6	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	7 認知症の理解		
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断基準となる原則を理解する。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)認知症を取り巻く状況	1.5	3(3)	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>認知症ケアの理念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症ケアの理念、パーソンセンタードケア、認知症ケアの視点と考え方について理解する。</li> <li>・ 認知症の方への尊厳を保持するケアについての理解</li> </ul>
(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント・健康管理</p>
(3)認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	1.5		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴</p> <p>②認知症の利用者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の中核症状、BPSDについて事例をもとに検討し理解を深める。</li> </ul> <p>&lt;演習&gt;</p> <p>複数の具体的な事例を検討し、認知症の利用者の介護における対応方法を確認する。</p>
(4)家族への支援	1.5		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>①認知症の受容過程での援助</p> <p>②介護負担の軽減(レスパイトケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の受容過程での援助の仕方、家族の介護負担の軽減について理解する。</li> </ul>
時間数合計	6	6	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	8 障害の理解		
指導目標	障害の概念と 1CF、障害者福祉の基本的考え方について理解し介護における基本的な考え方について理解する。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)障害の基礎的理解	1	1.5(1.5)	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>① 障害者福祉の基本理念</p> <p>② 障害の概念と国際生活機能分類(ICF)</p> <p>・ 障害の概念と ICF の分類、障害者福祉の基本理念について理解する。</p>
(2)障害の医学的側面生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	1		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>① 肢体不自由(身体障害)</p> <p>② 内部障害</p> <p>③ 音声・言語・咀嚼機能障害</p> <p>④ 高次脳機能障害</p> <p>・ 身体障害、知的障害、精神障害の代表的なものを紹介し、障害の基礎的知識を理解する。</p> <p>・ 障害の基礎的理解、高次機能障害、遂行障害と遂行機能障害についての理解</p>
(3)家族の心理、かかりあい支援の理解	1		<p>&lt;講義&gt;</p> <p>① 介護する家族の遭遇するストレス</p> <p>② 障害の理解と受容支援</p> <p>③ 介護負担の軽減</p> <p>・ 障害者家族の心理を理解する。</p>
時間数合計	3	3	



## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	9 こころとからだのしくみと生活支援技術		
指導目標	<p>介護技術の根拠と、根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</p> <p>尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</p>		
細目	通学	通信(自宅)	内容
①介護の基本的な考え方	1	65(12)	<講義・演習> ①理論に基づいた介護 ②法的根拠に基づく介護 ③リスクマネジメントについて ④本人本位・自立支援について
②介護に関するこころの基礎的理解	5		<講義・演習> ①学習と記憶の基礎知識
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5		<講義・演習> ①人体の各部の名称と働きに関する基礎知識 ②中枢神経と末梢神経に関する基礎知識
④生活と家事	6		<講義・演習> ①生活と家事の理解 ②介護職の工夫・体験
⑤快適な住環境設備と介護	6		<講義・演習> ①快適な住環境に関する基礎知識 ②高齢者・障害者特有の住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6		<演習> ①整容に関する基礎知識 ②整容の支援技術
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6		<講義・演習> ①移動・移乗に関する基礎知識 ②移動・移乗のための用具と活用方法 ③褥瘡と褥瘡予防について

## 介護職員初任者研修 シラバス

⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		<p>&lt;講義・演習&gt;</p> <p>①食事に関する基礎知識</p> <p>②食事環境の整備と用具の活用方法</p> <p>③楽しい食事を阻害する要因と支援方法</p> <p>④食事の留意点と支援</p>
⑨入浴に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		<p>&lt;講義・演習&gt;</p> <p>①入浴と清潔保持に関する基礎知識</p> <p>②入浴と整容の用具の活用方法</p> <p>③楽しい入浴の支援方法</p>
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		<p>&lt;演習&gt;</p> <p>①排泄に関する基礎知識</p> <p>②排泄環境の整備と用具の活用方法</p> <p>③爽快な排泄の支援方法</p>
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		<p>&lt;演習&gt;</p> <p>①睡眠に関する基礎知識</p> <p>②睡眠環境と用具の活用方法</p> <p>③快い睡眠を阻害する要因と支援方法</p> <p>④ベットメーカー</p>
⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	6		<p>&lt;演習&gt;</p> <p>①終末期に関する基礎知識</p> <p>②生から死への過程とところの理解</p> <p>③苦痛の少ない死への支援と他職種との連携</p>
⑬介護家庭の基礎的理解	5		<p>&lt;演習&gt;</p> <p>①介護過程の基礎的理解</p> <p>②介護過程の展開に必要な構成要素</p>
⑭総合生活支援技術演習	5		<p>&lt;演習&gt;</p> <p>総合生活支援技術演習(事例による展開)</p>
時間数合計	77	77	

## 介護職員初任者研修 シラバス

科目名	10 振り返り		
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。		
細目	通学	通信(自宅)	内容
(1)振り返り	2	4(0)	<p>&lt;演習&gt;</p> <p>①研修を通して学んだこと</p> <p>②今後継続して学ぶべきこと</p> <p>③根拠に基づく介護についての要点</p>
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2		
時間数合計	4	4	